

【ハロウィン地引き網～自然環境学習会～実施報告書】

2022年10月29日（土）

実施：たはらサンドアート実行委員会

―― イベント概要 ――

- ・名称 ハロウィン地引き網～自然環境学習会～ ―海と日本プロジェクト2022―
- ・日時 2022年10月29日（土） 10時00分～17時00分
- ・会場 表浜ほうべの森（田原市谷ノ口公園）・谷ノ口海岸
- ・概要 田原市内の発達障がい児を含む仮装した子どもたちのキッズファッションショー、地元漁師さんの協力による地引き網、地元の海を森を舞台に自然の魅力を体験するイベントなどを開催
- ・目的 知的・発達障がい児の居場所づくり【海や自然を学ぼう！】
- ・対象 田原市民、近郊の市の市民
- ・主催 たはらサンドアート実行委員会
- ・後援 田原市教育委員会

―― イベント結果 ――

参加者数：153名（参加者親子：108名、スタッフ・講師：45名）

―― イベントの様子 ――



【地引き網後の魚の説明】



【キッズファッションショー】



【ファッションショーに参加したキッズの集合写真】



【漁師さんより地引き網の説明】



【地引き網】



【漁師さんより魚の説明】



【採れた魚】



【月のモニュメント】



【ウォークラリー】



【だるまさんがころんだ】



【ボランティア大学生】



【参加賞配布】

――ハロウィン地引き網～自然環境学習会～ 実施レポート――

当日は、晴天に恵まれ、またおおきなトラブルもなく、すべてのイベントの内容を実施することができました。108名の方にご参加いただき、企業の皆様、スタッフの方々のご協力のおかげで大盛況となり、怪我や事故なく、無事に一日を過ごすことが出来ました。参加された方から「地引網が最高だった！」「貴重な経験ができてとても楽しかった。」などのお礼の言葉や感想をいただきました。実行委員会としては、知的・発達障がい児の子どもたちにも活躍できる場があることや、障がいの有無に関わらず一緒に楽しむことができることを伝えることができたこと、そして、海の魅力について体感する場を通して、参加者の皆様の笑顔を見ることができ、達成感を得ることができました。

【地引き網の説明】

谷ノ口海岸に集合し、地引き網の網を仕掛け方や網を引っ張る工夫について漁師さんから説明をしてもらいました。その後、網を仕掛けるための船の出港を全員で見送り、その様子に子どもたちは釘付けでした。船が戻って来るまでの間、海の生き物やゴミについてみんなで考えたりしました。

【地引き網】

昨年のように船のトラブルもなく、無事に船が出港し実施することができました。船が戻ってきたところで、漁師さんの指導のもと、子どもだけでなく大人も一緒に、「よいしょ、よいしょ」とかけ声をかけながら、網を引っ張りました。網はずっしりと重く、引き上げるために参加の子どもだけでなく親御さんも一緒に協力くださり、全員で網を引っ張るという一体感のある時間となりました。

どんな魚がいるのかなと待ち遠しいワクワクした気持ちで網を引っ張り終えた後は、あじ、かんぱち、ふぐなど、様々な魚が網にかかっており歓声が沸きました。漁師さんに網から魚を外してもらいながら、魚の説明をしてもらいました。みんな興味津々で話を聞き入って魚を観察したり記念撮影を楽しみました。知的・発達障がいと言われる子や疑いのある子どもたちが地引き網を通して魚などの海の自然と触れ合い、地元の漁師さんなど多様な地域の人たちと交流できる場となりました。

【キッズファッションショー】

キッズファッションショーでは、障がいがある子もない子も関係なく、みんなの個性が輝ける場をつくることを目的として開催しました。衣装した子どもたちがBGMに合わせて歩き、司会者の合図に合わせてポーズを決め、その瞬間を保護者の方々が写真に収めたり、拍手を送ったりしていました。

キッズファッションショーに参加することは、人前に立つことに慣れていない子どもたちにとって、一つの挑戦です。人に注目される緊張を乗り越えて、自分の好きなポーズで自分を表現する子どもたちの成功体験にもなりました。

【ウォークラリー】

ボランティアの大学生が主体となり、海と森の自然の魅力を体験するウォークラリーを行いました。

【お楽しみ企画】

ウォークラリーと同じくボランティアの大学生が主体となり、全員参加の「だるまさんがころんだ」や「ドッチボール」を行いました。

【エンディング】

エンディングでは、委員長からの話のあと、参加賞を参加者に配布しました。